

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会

第 9 回募 金 ・ 協 賛 推 進 特 別 委 員 会

報告事項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和元年度の取組実績（案）について

審議事項

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和 2 年度の取組計画（案）について

会議資料

- 【資料 1】 ・ 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和元年度の取組実績（案）
・ 企業向け寄附募集パンフレット
- 【資料 2】 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和 2 年度の取組計画（案）
- 【参考資料 1】 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金推進要綱
- 【参考資料 2】 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金推進計画
- 【参考資料 3】 募金・協賛推進計画の工程表（全体スケジュール）
- 【参考資料 4】 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 組織図
- 【参考資料 5】 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 構成図
- 【参考資料 6】 国スポ・障スポ～開催に向けた令和 2 年度の主な取組～

「募金・協賛推進特別委員会」委員名簿

(敬称略)

分野	役職	氏名	備考
1	滋賀経済団体連合会参与 (滋賀県商工会議所連合会専務理事)	廣瀬 年昭	
2	滋賀県地域女性団体連合会副会長	上村 照代	副委員長
3	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事兼事務局長	東 登志也	
4	滋賀県青年団体連合会顧問	藤原 麻美	
5	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー	戸田 由美	
6	びわ湖放送株式会社放送管理局報道部次長	井上 みゆき	
7	公益財団法人滋賀県スポーツ協会事務局長	片山 彰一	
8	滋賀県障害者スポーツ協会事務局長	浅見 孝円	
9	滋賀県文化スポーツ部次長	中嶋 義基	委員長

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和元年度 取組実績 (案)

1 寄附の実績 (R2. 3. 末)

令和元年度実績 45,716,659 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	19 件	194,000 円	
企業・団体	17 件	45,220,000 円	
イベント	23 件	94,998 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金
据置き募金箱	—	175,161 円	
その他	1 件	32,500 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))
計	60 件	45,716,659 円	(使途) 競技力向上 1,005,256 円 施設整備 44,526,403 円 広 報 185,000 円 (着ぐるみ製作費)

<参考>

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	計
件 数	2 件	10 件	27 件	112 件	57 件	60 件	268 件
寄 附 金 額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,717 千円	189,889 千円

2 主な取組

(1) 個人

① 街頭やイベント会場での募金活動の実施

より多くの方に大会開催の周知と募金に協力いただけるよう、寄附返礼グッズとして、大会マスコットキャラクターを活用したピンバッジや缶バッジを作成し、イベント等での募金活動で活用した。

また、県内アスリートの協力を得て、街頭募金活動を実施するとともに、大会マスコットキャラクターであるキャプティフ・チャプティフと一緒に両大会の周知および募金活動を実施した。

➤ 寄附返礼グッズの作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・◎

ピンバッジ 1,500 個

缶バッジ 6,000 個

➤ 街頭募金活動 (10/15 JR草津駅、JR近江八幡駅)・・・・・・・・・・①

参加者：東レアローズ、綾戸真美選手（ライフル射撃）、鶴飼風音選手（ライフル射撃）、光泉高校男子バスケットボール部、瀬田工業高校ボート部、青樹会近江八幡病院男子軟式野球部、滋賀県スポーツ協会、滋賀県障害者スポーツ協会他 合計 81 名 41,508 円

➤ スポーツイベント等での募金活動

- ・マスターズ水泳短水路大会(4/7 滋賀県立障害者福祉センター)
- ・県民スポーツの祭典(4/13 ピアザ淡海)
- ・全国都道府県対抗 e スポーツ大会滋賀県代表決定戦(5/11 イオンモール草津)
- ・アーチェリー大会：障害者スポーツ(5/19 滋賀県立障害者福祉センター)
- ・エキスポーツ 2019〜くさつ・しが SDGs 交流大会・・・・・・・・・・②
(5/26 立命館大学びわこ草津キャンパス)
- ・スプリングフェスタ子どもわくわくワンダーランド (6/1 矢橋帰帆島公園)
- ・フライングディスク大会(6/2 水口スポーツの森 陸上競技場)
- ・YMIT アリーナオープニングイベント(6/23 YMIT アリーナ)
- ・スペシャルスポーツカーニバル(7/6 長浜バイオ大学ドーム)
- ・県立障害者福祉センター夏祭り(7/21 滋賀県立障害者福祉センター)
- ・BC リーグ：オセアン滋賀ユナイテッド (8/7 甲賀市民スタジアム)
- ・BC リーグ：オセアン滋賀ユナイテッド (8/10 湖東スタジアム)
- ・近江ゆかりの会 (9/2 品川プリンスホテル)
- ・BIWAKO 湖フェス 2019(9/15 琵琶湖サンシャインビーチ)
- ・消費生活フェスタ(9/16 ビバシティ彦根)
- ・ご当地キャラ博 (10/19 彦根市夢京橋キャッスルロード周辺)
- ・しがスポフェスティバル (11/9 イオンモール草津)
- ・国スポ・障スポ開催内定イベント (11/16 イオンモール草津)・・・・・・・・◎
- ・びわ湖男女駅伝スポーツフェスティバル(11/24 希望が丘文化公園)

- ・ Bリーグ 国スポ・障スポ冠ゲーム (1/25、26 ウカルちゃんアリーナ)・・・㊦
- ・ BIWAKO クロカン 2020 (2/9 希望ヶ丘文化公園)・・・・・・・・・・・・・・・・・・㊧

② クラウドファンディングの手法を用いた寄附募集の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・㊦

「キャプチャー着ぐるみ製作」にかかる寄附募集にあたり、手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、クラウドファンディングを活用した寄附を募った。

テレビや新聞等のメディアに取り上げられ、募集開始から2週間で目標金額80万円を達成した。

※クラウドファンディングサイト (GoodMorning) を通じて寄せられた寄附については、令和2年度予算で収納するため、令和元年度実績に含めていない。

(実施期間：2/1～3/30 200件 1,020,500円)

※寄附申込書で申し込みのあった寄附185,000円のみ令和元年度に収納

③ スポーツイベント等とのタイアップの実施

イベント会場での広報・募金活動の他、「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。

・びわ湖レイクサイドマラソンチャリティーランナー 65名 32,500円

④ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

・令和元年度末募金箱設置箇所 134カ所 (平成30年度 105カ所)

(2) 企業・団体

① 寄附依頼

各種企業・団体等に対して、両大会の開催準備や寄附のメリット(企業イメージの向上、税制優遇措置など)、寄附金の活用用途等を説明のうえ、寄附依頼を行った。

また、依頼にあたっては、通常の寄附のほかに、以下のような企業活動にも資することにつながるメニューも提示した。

<通常の寄附以外のメニュー>

- 大会マスコット・愛称・スローガンロゴを活用した商品展開・・・H30に1社
大会マスコットキャラクターや愛称ロゴを活用した商品の販売に応じて、使用料を納付いただくもの
- 「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」・・・1団体で検討→最終的に見送り
寄附額の2割以内で企業・団体名の入った広報グッズを作成・配付することで寄附者(企業等)をスポーツ応援企業として認知度を高めるもの
- 「飲んで応援!プロジェクト」・・・2社で検討→調整中
寄附型自動販売機を活用し、自販機設置協力者があらかじめ設定した飲料一

本あたりの金額を寄附いただくもの

⇒企業・団体への依頼回数：延べ49回（出前講座を兼ねたもの7回）

⇒通常の寄附以外のメニューについては実現に至っていない。

② 寄附募集に係る情報発信

国スポ・障スポの寄附制度についての認知を広め、企業等による寄附の機運を高めるため、次のような取組を実施した。

- ・大会HPにおける情報発信
- ・『企業向け寄附募集パンフレット』のリニューアル
- ・滋賀県人会広報誌（2回）、広報誌Bispo（1回）への寄附募集の記事掲載
- ・感謝状贈呈式実施と情報発信（知事による贈呈式2回、HP・報道機関への資料提供）
 - ※贈呈式の回数増（例年1回→R1年度：2回）
 - ※資料提供に伴う新聞記事への掲載
- ・滋賀応援寄附（ふるさと納税）と連携した周知（滋賀応援寄附のメニューの一つに国スポ・障スポ寄附を位置づけ）
 - ※滋賀応援寄附を通じた企業寄附2件、個人寄附1件
 - ※滋賀応援寄附HPおよびテレビ番組等で国スポ・障スポ寄附も周知

3 寄附金を活用した事業展開

- ① 「選手の育成および強化」のためにいただいた50万円については、令和元年度に実施した競技力向上事業に充当した。

▶次世代アスリート発掘育成プロジェクト 25万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約30名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

▶競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援） 25万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

令和元年度の取組実績

個人

A



令和元年10月15日
街頭募金



B



令和元年5月26日
エキスポーツ2019〜くさつ・しがSDGs交流大会

C



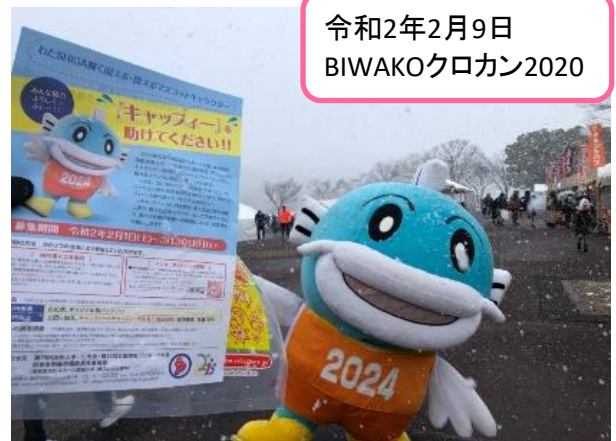
令和元年11月16日
国スポ・障スポ開催内定イベント

D



令和2年1月25、26日
Bリーグ 国スポ・障スポ冠ゲーム

E



令和2年2月9日
BIWAKOクロカン2020

J

寄附金の活用事業としてテレビ番組で紹介(2/9)



次世代アスリート発掘育成事業
「滋賀レイキッズ」

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る 令和 2 年度 取組計画 (案)

令和 2 年度においては、マスコットキャラクターを用いた寄附付商品の販売や大会専用ホームページ、SNS の活用による募金活動の展開、愛称・スローガンのロゴデザインやマスコットキャラクターを用いた寄附返礼グッズの製作、PR グッズ等の活用による企業への働きかけの強化などを主軸として、以下の取組を進める。

1 個人

引き続き大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

(1) 寄附付商品販売の検討・実施

マスコットキャラクターを活用した募金グッズ (ぬいぐるみ等) を製作し、事務局による直接販売またはスポーツ店等による委託販売 (売上金から手数料を除いた金額を寄附とする仕組み) を実施する。

(2) 寄附返礼グッズの充実

募金協力者向け、幅広い世代を対象とした愛称ロゴやマスコットキャラクターをデザインしたピンバッジ等の寄附返礼グッズを充実させる。

(3) 街頭やイベント会場での募金活動の実施

寄附返礼グッズ等を活用し、県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施する。

(4) クラウドファンディングによる寄附の受け入れ

手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、「滋賀応援寄附」を活用して寄附を受け入れ、県のふるさと納税の取組と連携する。

(5) ホームページ、SNS を活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページとクラウドファンディングサイトの相互リンクや SNS を活用した情報発信による寄附募集の周知を行う。

(6) 募金箱の設置箇所の拡大

県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を積極的に拡大していく。

(7) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施を拡大していく。

2 企業・団体

(1) 寄附依頼

引き続き各種企業に対して、両大会の準備状況や寄附のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、寄附金の活用用途等を説明のうえ、協力を依頼する。

また、引き続き様々な企業に寄附制度への関心や認知度を高めるため、多くの企業が参画する経済団体・各種団体の会合の場を活用した説明を行う。

寄附依頼にあたっては、引き続き通常の寄附のほかに、企業活動にも資することにもつながる以下のメニューも提示する。

<通常の寄附以外のメニュー>

- 大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンロゴを活用した商品展開
⇒商品展開例を示した具体的な提案書（先催県の作製例を記載）を作成し、企業・団体への提案を行うほか、広く情報発信する。
- 「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」
⇒広報グッズの作製例（寄附額の2割以内で作製）を示した具体的な提案書を作成し、企業・団体への提案を行うほか、広く情報発信する。
- 「飲んで応援！プロジェクト」
⇒自動販売機のラッピングデザイン例を示した具体的な提案書を作成し、企業・団体への提案を行うほか、広く情報発信する。

(2) 寄附募集に係る情報発信

寄附制度についての認知を広め、企業等による寄附の機運を高めるため、引き続き情報発信を行うものとし、次のような取組を実施する。

- ・(拡充) 大会HPにおける寄附関係の情報の充実
- ・(新規) 大会 SNS (twitter、instagram)、県公式 SNS 等による寄附募集の情報発信
- ・(新規) 大会広報誌における寄附関係の記事掲載（寄附金を活用した事業の紹介）
- ・(継続) 感謝状贈呈式の実施（2回以上実施し、HP・報道機関へ資料提供）

(3) 企業協賛制度の構築に向けた検討

企業協賛制度^{*}の構築に向けた検討（協賛金受け入れ手続きの検討、関係規程整備、日本スポーツ協会との調整等）を開始する。

※国スポの開催決定を受けて、令和3年度（開催3年前）に「国民体育大会企業協賛に関するガイドライン」に基づき、日本スポーツ協会と開催県が共同で構築するもの。

※協賛企業には、協賛カテゴリーに応じて大会愛称・マスコットキャラなどの広告使用权や商品化権、企業名を記載した看板の掲出等の権利を付与する。

※協賛企業からの協賛金・協賛物品は、大会の広報活動および大会運営等に活用する。

3 寄附金を活用した事業展開

(1) 選手の育成および強化

「選手の育成および強化」のためにいただいた92万円については、令和2年度に実施する競技力向上事業に充当。

①次世代アスリート発掘育成プロジェクト 32万円

引き続き「滋賀レイキッズ」に対し、育成プログラムを実施し、将来のアスリートを育成

②競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート強化） 30万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

③ターゲットエイジの重点強化事業 30万円

滋賀で開催する国スポで少年種別の主力となる選手（小学校5年生～中学校2年生）を指定し、重点的に強化事業を実施

(2) 広報

「広報」のためにいただいた18万5千円については、令和2年度のキャッフィー着ぐるみ製作に充当。

キャッフィー着ぐるみ製作 18万5千円

平成 27 年(2015 年) 8 月 31 日
第 3 回 総 会 決 定
令和元年(2019 年) 5 月 17 日
第 7 回 総 会 一 部 改 正

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、令和 6 年(2024 年)の第 79 回国民スポーツ大会および第 24 回全国障害者スポーツ大会(以下「両大会」と総称する。)を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集(以下「募金」という。)について、必要な事項を定める。

(推進)

第 2 条 募金は、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会(以下「開催準備委員会」という。)が推進する。

- 2 開催準備委員会の構成員は、連携協力して募金の推進にあたるものとする。
- 3 開催準備委員会は、募金を推進するための計画を策定するものとする。
- 4 前項の計画は、進捗状況等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

(名称等)

第 3 条 募金は、「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金」という名称を用いて行うものとする。

- 2 募金は、前項の名称のほか、必要に応じ愛称を用いて行うことができる。

(対象)

第 4 条 募金は、滋賀県内外の個人および企業・団体を対象として行うものとする。

(期間)

第 5 条 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 第 7 条第 1 号に掲げる経費のための募金 開催準備委員会の総会の議決により定める日から両大会最終日まで
- (2) 第 7 条第 2 号に掲げる経費のための募金 平成 29 年 7 月 31 日から両大会最終日まで
- (3) 第 7 条第 3 号および第 4 号に掲げる経費のための募金 平成 27 年 8 月 31 日から開催準備委員会の総会の議決により定める日まで

(受入れ)

第 6 条 募金による寄附金は、滋賀県が受け入れ、滋賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金に積立てるものとする。

(使途)

第7条 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1) 両大会運営に要する経費
- (2) 両大会の広報に要する経費
- (3) 両大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (4) 両大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

(謝意表明)

第8条 寄附者に対しては、開催準備委員会会長が別に定めるところにより、謝意を表明する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、募金の推進に関し必要な事項は、開催準備委員会会長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月31日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年7月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月17日から施行する。

平成 27 年(2015 年) 8 月 31 日
第 3 回 総 会 決 定
令和元年(2019 年) 5 月 17 日
第 7 回 総 会 一 部 改 正

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 募金推進計画

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金推進要綱（以下「要綱」という。）第2条第3項の規定に基づき、寄附を通じた第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）への参加を促進するため、次のとおり計画的かつ戦略的に募金を推進するものとする。

1. 推進体制

開催準備委員会の構成員は、各々の会員や加盟団体等に募金の周知を図るとともに、寄附の呼びかけを行うものとする。また、募金に係る広報活動等の取組についても連携協力して行うものとする。

2. 推進に向けた視点

次の3つの視点に基づき、取組を推進する。

(1) 「寄附したいと思っていただくための工夫」

滋賀や両大会を応援したいという思いの醸成を図る。

(2) 「気軽に寄附していただくための工夫」

寄附しようと思った時に、気軽に寄附できる環境を整備する。

(3) 「活動を持続させるための工夫」

長期間にわたる募金を持続させるために必要な工夫を行う。

3. 具体的な取組

(1) 様々な募金活動の展開

ア 個人

- ・ 県内の方をはじめとして、県外在住の滋賀ゆかりの方にも寄附を呼びかける。
- ・ 両大会記念物品等の購入を通じた寄附を呼びかける。
- ・ 公共施設や民間施設に募金箱を設置する。また、募金箱については、スポーツイベントをはじめとする各種イベント時にも設置するなど寄附機会の拡大を図る。
- ・ 駅や商業施設等において、街頭募金を原則として年に1回実施する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

イ 企業・団体

- ・ 県内の企業・団体をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの企業・団体についても直接訪問するなどにより寄附を依頼する。また、県内に事業所等があり県外に本社がある企業については、必要に応じ本社を訪問して寄附を依頼する。
- ・ 寄附については、通常の寄附のほか、寄附付き商品の販売、主催イベントの参加料や運営する施設の利用料に寄附を含める方法などについても協力を依頼する。
- ・ 職場募金への配慮を依頼する。
- ・ マスコットキャラクターのグッズ販売等について協力を依頼する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

(2) 戦略的な広報活動の展開

- ・ インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物等の多種多様な媒体を活用して戦略的に広報を行う。また、必要に応じ両大会開催のプレイベント等との連携を図る。
- ・ 広報にあたっては、選手の動向や思いを発信するなどにより、募金の趣旨に共感してもらうための工夫をする。
- ・ 寄附について税の優遇措置があることを周知する。

(3) 学校との連携協力

- ・ 県内の大学をはじめとした各種学校と連携協力し、若い世代による募金を含む両大会全般を盛り上げる取組を実施する。（例：募金箱コンクール、広報物のデザインコンテスト、募金アイデアコンペ等）

(4) 滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼

- ・ 各種広報活動やイベントへの出席等について協力を依頼する。
- ・ グッズ等の「モノ」のほか、一緒に何かをする権利等の「コト」の提供についても協力を依頼する。

(5) 寄附への謝意表明

- ・ 礼状の送付その他の方法で謝意を表明する。
- ・ 同意がある場合は、インターネットや開催準備委員会の総会等を通じ、氏名または名称を公表し、その厚意を讃える。

(6) 結果のフィードバック

- ・ 寄附金を充当した事業の実績や成果について、レポートを作成しインターネット等を通じ公表することなどにより、寄附者に報告する。

(7) 様々な支払手段の設定

- ・ 募金専用納付書の作成や、募金箱の設置、クレジットカードによる寄附、その他インターネットを活用した寄附など様々な支払手段を設定し、手軽に、かつ気軽に寄附できるための環境整備を図る。

(8) メリハリをつけた推進

- ・ 週単位または月単位の取組集中期間を設ける。
- ・ 取組の開始時期をあえてずらしたり、進捗状況等を踏まえて刺激となる新たな取組を追加するなどにより息切れを防ぐ。

4. 推進計画の進行管理

推進計画については、取組の進捗状況等を「募金・協賛推進特別委員会」において毎年検証するとともに、要綱第2条第4項の規定に基づき、必要があるときは、開催準備委員会の総会の議決を経て変更する。

全体スケジュール

参考資料 3

○募金の期間

		H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	R1 (2019) 5年前	R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -
						開催内定		開催決定		リハザル大会	開催
使途	大会運営						(始期未定)				
	選手の発掘・育成・強化										(終期未定)
	施設整備										(終期未定)
【参考】企業協賛											

○具体的な取組

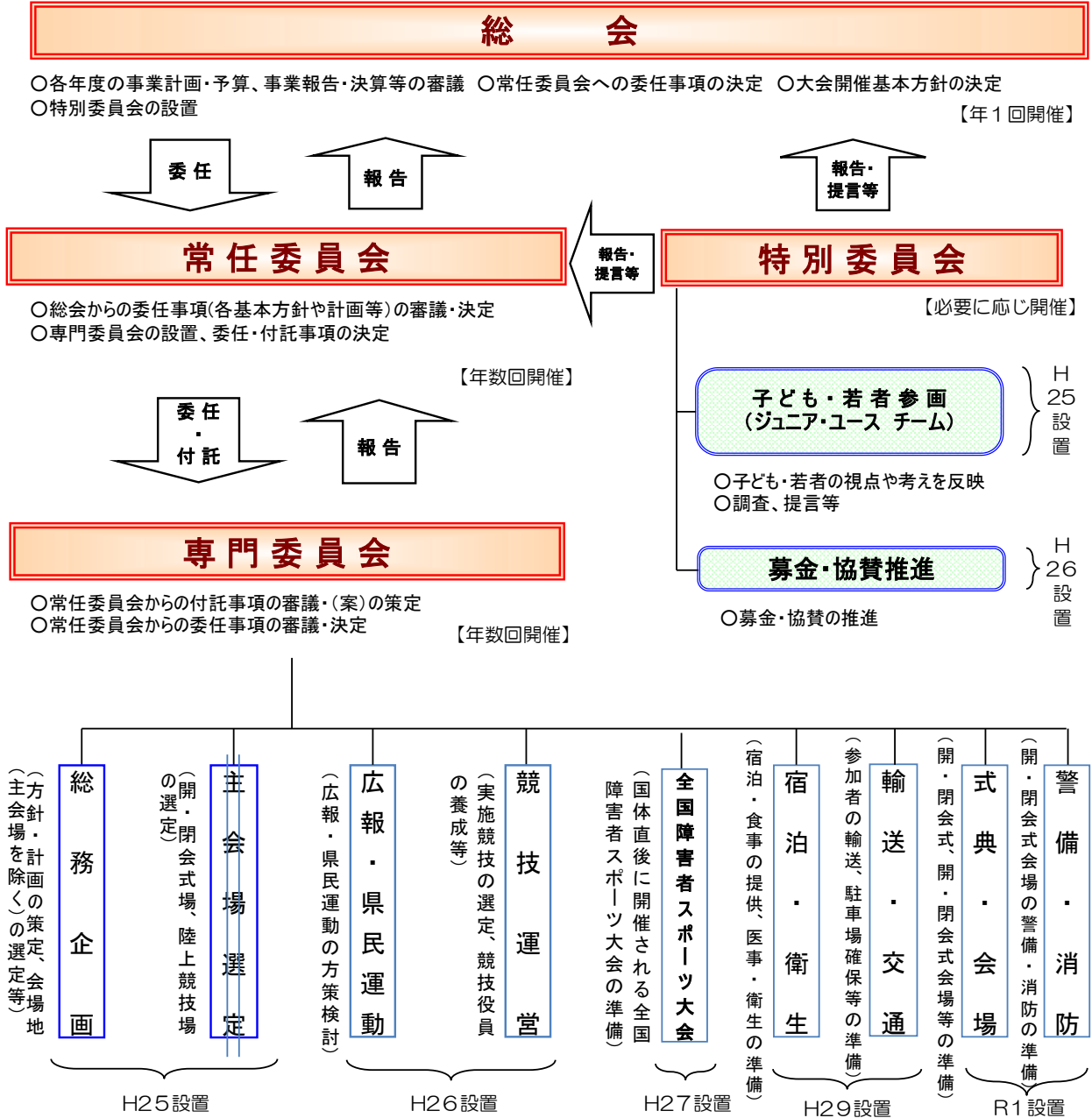
		H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	R1 (2019) 5年前	R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -
						開催内定		開催決定		リハザル大会	開催
		スタート・ダッシュ			キープ			スパート			
様々な募金活動の展開											
個人											
	寄附の呼びかけ	インターネット、リーフレット、広報誌等の多種多様な媒体を活用して寄附を呼びかけ(記念品等の購入による寄附含む) 県内の方をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの方にも呼びかけ									
	募金箱の設置	公共・民間施設に設置(+イベント時)			徐々に拡大(+イベント時)			県内どこでも見かけるように設置(+イベント時)			
	街頭募金の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					開催内定イベント			開催決定イベント		開催直前イベント	

		H27 (2015) 9年前	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	R1 (2019) 5年前	R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -
						開催内定		開催決定		リハザル大会	開催
		スタート・ダッシュ			キープ			スパート			
(様々な募金活動の展開)											
企業・団体											
	寄附の呼びかけ	県内の企業・団体や滋賀にゆかりを持つ県外の企業・団体に対し、直接訪問や依頼状送付などにより寄附を依頼 県内に本社がない企業については、必要に応じ本社を訪問するなどにより寄附を依頼									
	寄附付き商品の販売、イベント参加料や施設利用料に寄附を含む方法などへの協力依頼	直接訪問等により協力依頼			対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼			さらなる拡大を目指して協力依頼			
	マスコットグッズ販売の協力依頼				ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼			グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼			
戦略的な広報活動の展開		インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物など多種多様な媒体により戦略的に広報を行う									
						内定イベントとの連携		決定イベントとの連携		1年前イベントとの連携	開催イベントとの連携
学校との連携		関係機関等と調整		小学生による募金箱コンクール							
		広報物デザインコンテスト、募金アイデアコンペなど									
滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼		直接訪問により協力を依頼								さらなる拡大を目指して協力を依頼	

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 組織図

(令和元年5月17日現在)

事務局：県文化スポーツ部国スポ・障スポ大会課



総 会	会長 (知事)、 副会長9名 (県議会議長、副知事、県スポーツ協会会長、県障害者スポーツ協会会長、県教育委員会教育長、市長会会長、町村会会長、滋賀経済団体連合会会長)、 顧問6名 (県選出国會議員)、 参与56名 (県議會議員、県教育委員会委員、報道各社代表)、 委員265名 (各市町長、各市町議會議長、各関係機関・団体の長、県部長級職員、県警本部長等)、 監事3名 (県会計管理者、市町会計管理者の代表) 合計 340名
常任委員会	委員長 (会長)、 副委員長9名 (副会長)、 常任委員73名 (県議会副議長・関係委員会委員長、各市町長、主要機関・団体の長) 合計 83名
子ども・若者参画特別委員会	県内の子ども・若者から公募等により選任
募金・協賛推進特別委員会	経済・社会分野、スポーツ分野等から選任
各専門委員会	各々の設置目的に応じ選任



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 ～ 開催に向けた令和2年度（2020年度）の主な取組 ～



開催準備委員会

開催準備委員会の運営

- ◆ 総会（1回）、常任委員会（2回）、専門・特別委員会（各1～3回）の開催
- ◆ 開催県検討会議の開催（開催県の持ち回りによる開催）
- ⑨ 総会でのアスリート等による講演会の実施

若い世代の意見を反映

- ◆ 小学生から大学生世代が委員の「子ども・若者参画特別委員会」において、開催準備やスポーツ振興等について調査・提言活動を実施（9回程度）。
- ◆ R2年度のテーマ(案)は、「国スポ・障スポ弁当をつくろう！」。

寄附募集の推進

- ◆ 「募金推進計画」に基づき、寄附募集を推進する（街頭募金、イベント・大会とのタイアップ、企業への寄附依頼等）とともに、「募金・協賛推進特別委員会」において年度実績の確認、次年度の実施計画を検討。

広報・県民運動の展開

- ◆ 大会マスコットキャラクターを活用した、大会広報誌、大会専用ホームページによる情報発信や、啓発グッズ等の広報・物品の作成を通じ、大会広報・啓発を推進する。
- ◆ 県民総参加による国スポ・障スポの開催に向けた県民運動アクションプログラムを策定し、周知を図る。
- ⑨ 開催機運の醸成を図るとともに、県民総参加による国スポ・障スポを開催するため、イメージソングを制作する。

中央競技団体正規視察の実施

- ◆ 各会場における正式競技・特別競技の開催準備に資するため、平成30年度から順次中央競技団体の会場地視察を受け、会場施設等の整備、競技運営等についての具体的な指導助言を得る。R2年度は4競技の実施を予定。

競技会場の選定

- ⑨ 国スポ開催にあたり、競技基準を満たすための大規模な仮設が必要な競技等について、仮設方法やその費用の算定を行うことで、効率的な会場設営を行うための基礎資料を整える。
- ◆ 引き続き国スポ・障スポ競技の会場地選定を行う。
- ◆ 引き続きデモンストレーションスポーツを募集する。

競技運営にかかる検討

- ◆ 引き続き、各競技団体が実施する役員養成事業に対する補助を行うとともに、開催に必要な競技用具の確保に向けた計画を検討する。

障スポ特有の準備

- ◆ オープン競技の選定を行う。
- ◆ 引き続き、競技役員養成を行う。
- ◆ 手話・要約筆記ボランティアの養成事業を開始する。
- ⑨ 会場設営の準備のため、バリアフリー調査を実施する

輸送・交通にかかる検討

- ⑨ 大会開・閉会式の輸送計画策定に向けて、調査を実施する。
- ◆ 競技会場地輸送について、手引きを策定し、各市町での輸送計画策定に向けた支援を行う。

宿泊・衛生にかかる検討

- ◆ 大会開催時の配宿計画作成の際に必要な仮配宿計画を作成し、充足対策を検討するとともに、宿泊施設充足対策要項策定に向けた検討を行う。また、防疫、食品衛生、環境衛生等について各種対策要項策定に向けた検討を行う。

式典・会場にかかる検討

- ◆ 式典基本方針(案)および式典基本構想(案)を作成し、大会開催時の式典・会場について検討を行う。

警備・消防にかかる検討

- ◆ 警備・消防防災基本計画(案)を作成し、大会開催時の警備・消防について検討を行う。

事務局費

- ◆ 会計年度任用職員雇用、旅費等

市町競技施設整備費補助

- ◆ 競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

(仮称)彦根総合運動公園整備事業

- ◆ 主会場として(仮称)彦根総合運動公園を整備するため、引き続き事業用地の取得を行う。

安曇川高校ウエトリフティング場敷地整理業務

- ◆ 安曇川高校ウエトリフティング場の整備を行うにあたり、必要となる敷地の購入を行う。

課直執行事務費

- ◆ 需用費(点検費、ガソリン代等)、使用料および賃借料(ETC代)等